



丹波篠山

日本遺産のまち
ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市

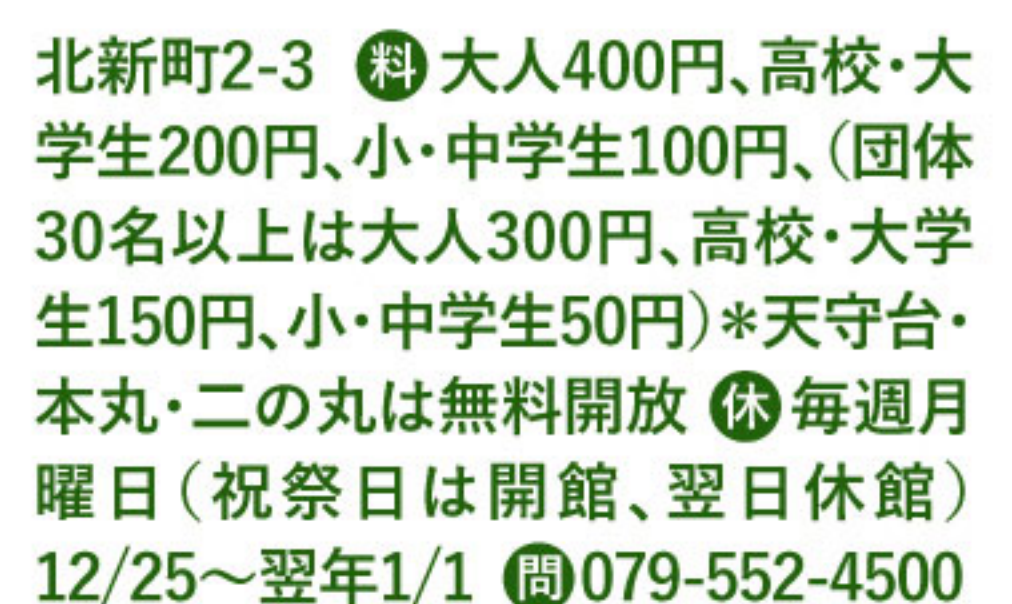
俺は丹波篠山だ



TANBA SASAYAMA
GUIDE BOOK

な街並み。

また、盆地特有の昼夜の気温差や、秋から冬にかけて発生する「丹波霧」などの独特の気候風土が、全国的にも有名な「丹波篠山黒豆」をはじめとした多くの特産物を育ており、歴史や文化を感じながら四季の味覚もお楽しみいただけます。





おかちまち 御徒士町 武家屋敷群

御徒士町は、江戸時代に藩主の警護にあたった武士たちが屋敷を構えた場所で、今も城の西側に10数棟の屋敷が立ち並び、当時の面影を残しています。



王地山まけきらい稲荷 王地山公園

王地山稲荷には、江戸時代に大相撲で連戦連勝した王地山平左衛門をまつた「まけきらい稲荷」があり、それにあやかって受験生などが参拝に訪れます。周辺の王地山公園では桜や紅葉、紫陽花を楽しむことができます。



あんまけ 武家屋敷安間家史料館

篠山藩主青山氏の家臣の一般的な徒士住宅跡。安間家で使用されていた食器や家具があり、当時の暮らしがうかがえます。中庭には心地よい音色の水琴窟があります。

西新町95 料大人200円、高校・大学生100円、小・中学生50円 休毎週月曜日(祝祭日は開館、翌日休館)12/25～翌年1/1
問079-552-6933



歴史美術館

明治24年(1891)に建てられた日本最古級の木造裁判所を美術館に改装。館内には、古くから美術工芸の技術に優れていた篠山ならではの名品の数々が展示されています。また、法廷も残っており、当時の姿を伝えています。

呉服町53 料大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円、(団体30名以上各50円引)*特別展は別料金 休毎週月曜日(祝祭日は開館、翌日休館)12/25～翌年1/1
問079-552-0601



春日神社能舞台

文久元年(1861)、藩主青山忠良が建立寄進した能舞台。当時は箱根より西では最も立派な舞台といわれました。現在も元旦に「翁」、春には「春日能」が奉納されています。

河原町妻入商家群

間口が狭く奥行きが長い妻入商家が並ぶ河原町。国の重要伝統的建造物群保存地区で、千本格子や荒格子、袖壁などが往時の城下町の姿を今に伝えます。

重要伝統的建造物群保存地区(伝建地区)

街並みを構成している要素を、伝統的な建築物だけでなく門や塀などの工作物を加えた群として捉え、地区指定に際してはさらに周囲の環境も含めた面的な保存地区として指定する。



丹波篠山デカンショ節

♪丹波篠山 山家の猿が 花のお江戸で芝居する♪
 今も篠山の人々に歌い継がれるデカンショ節。
 兵庫県を代表する民謡の祭典「丹波篠山デカンショ祭」では
 その踊りも受け継がれています。

『♪デカンショ デカンショで半年
 暮らす あとの半年寝て暮らす』

古くから合言葉のように口伝えられてきたこの節回しからは、仕事や勉強に励む日々の苦労も、時が過ぎれば新しい明日がやって来ると励まされます。その楽道家とも思えるこの歌詞に続けと、今も次々と日常を詠んだ名台詞が生まれ、その数も数百に上ります。篠山地方に伝わる民謡が多くの人に共鳴し、時代を経てもなお進化していく様子は、篠山人にとって誇らしい文化遺産です。

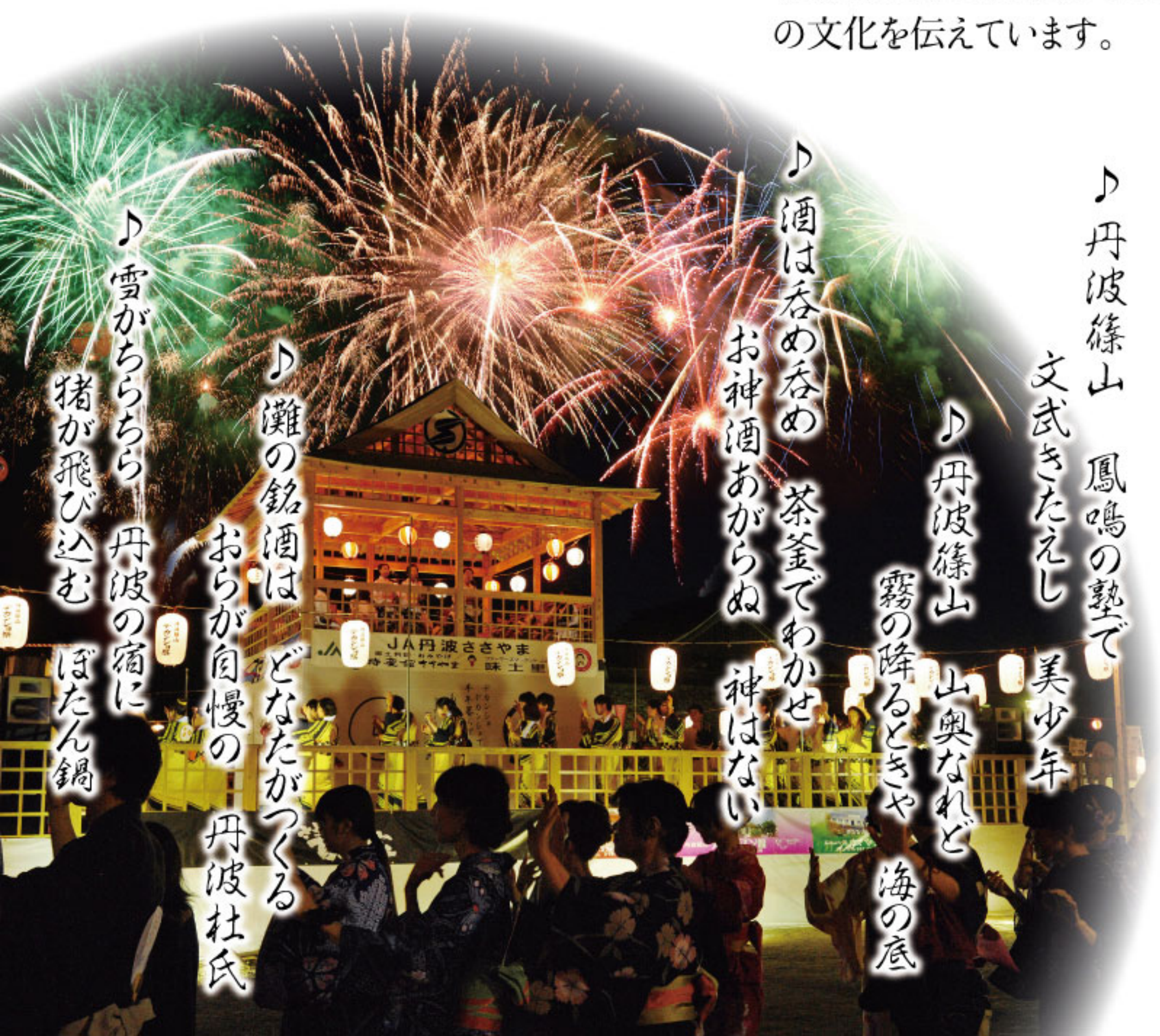
祭りに深く携わって来た谷田治さんの想いの中には、万国博覧会をはじめとした国際交流の舞台に招かれ「デカンショ節」を披露できることは、篠山人として喜ばしく、後世に伝えていきたい気持ちが更に高まります。

デカンショ節 〔市指定無形民俗文化財〕

江戸時代から続く民謡「デカンショ節」は、明治31年(1898)、篠山出身の遊学生たちから旧制一高(現東京大学)の学生たちに伝わりました。「丹波篠山 山家の猿が 花のお江戸で芝居する♪」で始まる歌は、たちまち多くの学生や若者から全国に広まりました。歌詞には、篠山城や特産物、丹波杜氏など数多くの歴史文化関連資産が歌いこまれ、有形・無形の文化を伝えています。

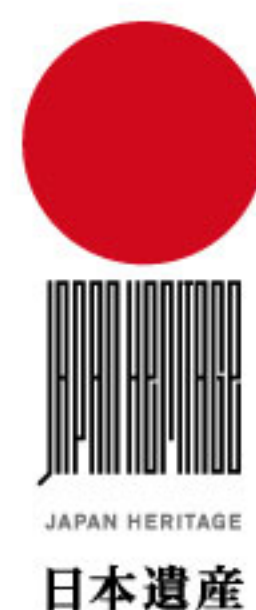


篠山デカンショ節保存会
 谷田 治さん



丹波篠山 デカンショ節 —— 民謡に乗せて歌い継ぐ ふるさとの記憶

篠山市では、時代ごとの風土や名所、名産品などを歌詞に盛り込み歌い継がれてきた「デカンショ節」をストーリーのテーマとして申請し、平成27年4月21日に開催された「日本遺産審査委員会」における審議を経て、第1号の「日本遺産」に認定されました。



♪丹波篠山 鳳鳴の塾で
 文武きたえし 美少年

♪丹波篠山 山奥なれど
 霧の降るときや 海の底

♪酒は呑めぬ 茶釜でわかせ
 お神酒あがらぬ 神はない

♪灘の銘酒は どなたがつくる
 おらが自慢の 丹波杜氏

♪雪がちらちら 丹波の宿に
 猪が飛び込む ぼたん鍋

青山歴史村 丹波篠山デカンショ館

篠山藩主青山家の別邸であった青山歴史村内にあり、デカンショ節を通して日本遺産に認定された篠山の文化財や見どころの情報を発信しています。

北新町48 料 大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円、(団体30名以上各50円引) 休 毎週月曜日(祝祭日は開館、翌日休館) 12/25～翌年1/1 問 079-552-0056



丹波篠山デカンショ祭

全国に誇る民謡の祭典「デカンショ祭」。毎年8月15・16日には、丹波篠山の真夏の夜が賑やかに彩られます。

篠山の年間イベント

元朝能「翁」[1月1日]

毎年1月1日の午前0時20分頃から、篠山春日神社能舞台で開かれる、国内で最も早い演能。



丹波篠山さくらまつり [4月上旬]

春の丹波焼陶器市や銘木変木市と同時に篠山城跡周辺で開催されます。



にしきシャクナゲまつり [4月下旬]

咲き誇る和洋シャクナゲの展示即売、品評会、講習会などシャクナゲを存分に楽しむイベントです。

大国寺と丹波茶まつり [6月上旬]

丹波茶壺道中、新茶や新鮮野菜の販売のほか、茶摘み体験やお茶席など楽しいイベントが盛りだくさん。



多紀連山アルペンルート登山 [11月上旬]

多紀アルプスの主峰御嶽(793m)に登山。大たわ広場では、山伏の祈祷や様々なイベントも開催。

篠山市菊花展 [11月上旬]

旧藩公愛撫の花「お苗菊」を中心に、丹精込めて育てられた美しい菊花が会場を彩ります。



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

篠山ABCマラソン大会 [3月上旬]

毎年早春、篠山城跡周辺の丹波路を多くのランナーが駆け抜けます。

篠山春日能 [4月上旬]

桜が舞い散る中、重要文化財の春日神社能舞台で幽玄な能と狂言の世界が繰り広げられます。



やきものの里 春ものがたり [4月下旬]

立杭陶の郷、兵庫陶芸美術館、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷と窯元で、様々なイベントを開催。

丹波篠山山開き [5月上旬]

多紀連山、弥十郎ヶ嶽、大野山で開催される、夏山シーズンの到来を告げる登山イベント。

丹波篠山デカンショ祭 [8月15・16日]

全国車いすマラソン大会 [9月下旬]

日本陸連公認の篠山城跡マラソンコースを、全国各地から参加する車いすランナーが力走する。

丹波篠山味まつり・城東味まつり

丹波たんなん味覚まつり

[10月上旬]

味覚フェア楽市楽座

黒枝豆の販売や丹波篠山牛の丸焼きなど、楽しい食のイベントが盛りだくさん。



丹波焼陶器まつり [10月中旬]

丹波焼の陶器市や丹波の秋の味覚を満喫できる、芸術と味覚を集約した2日間。

丹波焼の里

ささやましこんだちよう
篠山市今田町

自然豊かな里山に囲まれた山あいに、

800年以上も受け継がれてきた丹波焼の里。

四季折々の風景と、窯元めぐりや陶芸体験、

美術館や温泉などのんびり過ごせます。



丹波立杭陶磁器協同組合 理事長
市野清治さん

篠山城跡より南西約15kmの山あいに丹波焼の里があります。古くから陶芸に適した粘土が豊富に採掘でき、その発祥は平安時代末期から鎌倉時代のはじめと伝えられます。その地の利により800年を超えて栄え続け、今では50軒を超える窯元が軒を連ねています。また、四季を通して自然の美を感じさせてくれる美しい山里の景色は、陶芸家達の作品に力を与えています。

丹波焼の陶芸家の市野清治さんはこう言います。ここ丹波焼の窯元で作陶する者にとって、この地は陶芸家として暮らしていけるあらゆる可能性に恵まれた環境だと。伝統を継承する陶芸家達の心意気が折り重なって、この地で育まれた味わい深い丹波焼は、古来よりの篠山人の美意識を今に伝える貴重な財産だといえます。



ろっこよう たんばやき 日本六古窯 丹波焼

丹波焼は、瀬戸、常滑(とこなめ)、信楽(しがらき)、備前、越前とともに日本六古窯の一つに数えられています。桃山時代までは「穴窯」が使用されていましたが、1611年ごろ朝鮮式半地上の「登り窯」が導入され、同時期に取り入れられた蹴りロクロ(日本では珍しい丹波焼独特の左回転ロクロ)とともに、伝統技術を今日に受け継いでいます。昭和53年(1978)、「丹波立杭焼」の名称で国の伝統的工芸品指定を受けており、窯元ではギャラリー巡りや陶芸体験を楽しむことができます。



ユネスコ創造都市ネットワーク (クラフト&フォークアート)加盟都市



篠山市は、ユネスコ創造都市ネットワークのクラフト&フォークアート分野で平成27年12月11日に加盟が決定。篠山市には、美しい町並みや景観、伝統文化、自然環境などさまざまな魅力があり、都市部である京阪神から約1時間の距離にありながら、都市化に走らず、農村文化や伝統産業を守り続けてきました。これから篠山市は、農村風景や地域コミュニティ、日常の生活文化がもっている「創造性」に光をあててまちづくりをさらに進めていきます。



兵庫陶芸美術館

丹波焼をはじめ三田焼、東山焼、出石焼、珉平(みんぺい)焼など兵庫県内の陶磁器コレクションのほか、日本および海外の近・現代陶芸作品を収蔵、また幅広く国内外の陶芸作品を紹介する特別展を開催しています。レストランでゆっくり休むこともできます。

今田町上立杭4 料 観覧料は
は展覧会ごとに異なります。
問 毎週月曜日(祝祭日は開館、翌平日休館)12/31・1/1 休 079-597-3961



左：壺(室町時代中期 兵庫陶芸美術館所蔵)
右：色絵桜川文徳利
(江戸時代後期 兵庫陶芸美術館所蔵)



丹波伝統工芸公園 立杭陶の郷

「古丹波」の名品や現代作家の作品を展示し、丹波焼の歴史や技術、魅力に触れることができます。陶芸教室で自分だけのオリジナル作品づくりに挑戦したり、まるでギャラリーのような「窯元横丁」を巡りながら各窯元の作品を買うことができます。

今田町上立杭3 料 高校生以上200円(20名以上の団体は160円)、小・中学生50円、(団体割引なし)
休 12/29~翌年1/1 問 079-597-2034

最古の登り窯

明治28年(1895)に造られ、長さ47mある上立杭の登り窯は、現役では最古の窯として兵庫県の有形民俗文化財に指定されています。2年かけて大修復を行い、平成27年(2015)に完成しました。



「丹波黒」の愛称でも親しまれる丹波篠山黒豆は、粒が大きく味の濃いのが特徴です。豊かな恵みを育む『篠山盆地』は、太古の昔には湿地帯だったと伝えられ、その土壌は層が厚く豊富な栄養が蓄えられています。

黒豆マイスターの山本博一さんは、地域特産物の栽培・加工技術等に卓越し、その技術の伝承と開発に意欲的と認定された情熱的な農業家です。山本さんは小・中学生の農業体験や、大学生の実践的活動などを快く受け入れ、「黒豆栽培を通じて一人でも多くの農業家を育てていきたい」と語ります。篠山人を代表する農業への熱い思いが伝わってきます。

とはいえ、農家では別名「苦労まめ」と洒落も込めて言われる程、その発育から収穫までには手がかかるとの事。自然の恵みや、篠山人のこだわり、収穫を待ち望む人への想いが重なって、その長きに渡る伝承は支えられているのです。その苦労があっても、おいしい丹波篠山黒豆が味わえるのです。



黒豆マイスター 山本博一さん



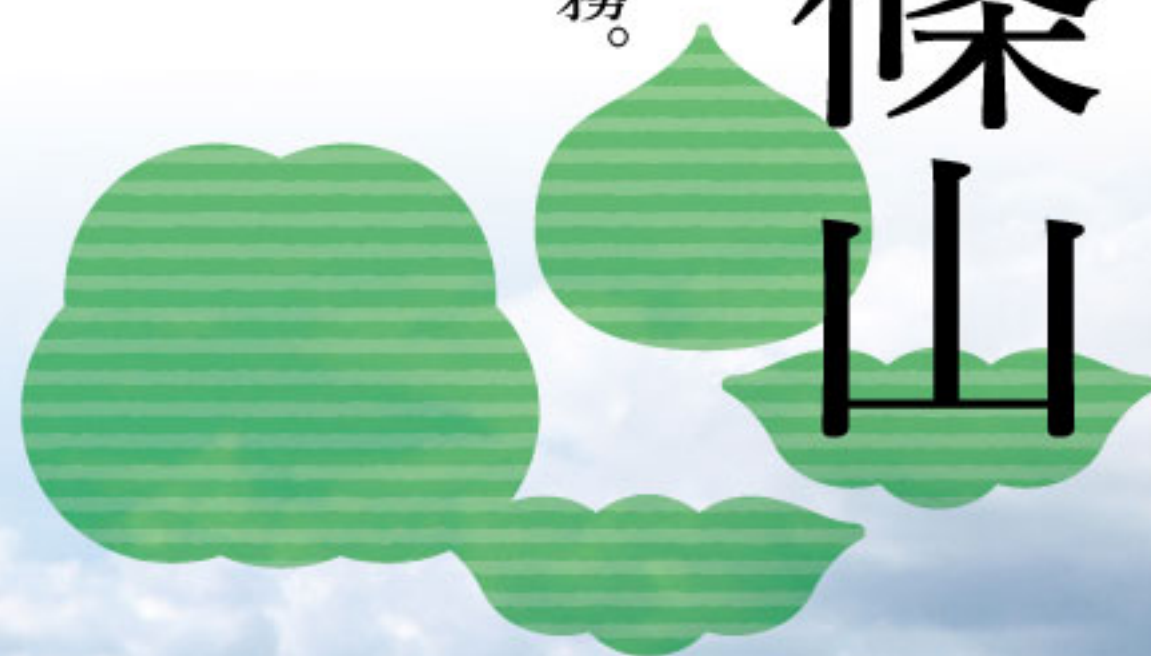
農の都 丹波篠山

昼夜の温度差が大きく、丹波霧と呼ばれる深い霧。

標高200～300mにある篠山盆地の

この独特の気候と豊かな土壌、清らかな水が、

丹波篠山の多くの農産物を育んでいます。





丹波篠山黒枝豆

丹波篠山黒枝豆は、黒豆がサヤの中で熟成しきって、黒色になる前の青いサヤの状態のもの。大粒で糖度が高く、独特のコクと風味があり、全国に誇る枝豆の最高級品です。

丹波篠山山の芋

ごつごつとした外見とは対照的に、すりおろすと純白できめ細やかな粘りけがあります。山かけ、とろろ汁、とろろご飯に最適です。消化が良く、強壮、強精、疲労回復、高血圧防止など体にもやさしいごちそうです。



丹波篠山牛

丹波篠山は全国的に有名な神戸ビーフの原産地です。但馬牛を素牛とし、豊かな自然の中で、高度な肥育技術を駆使して手塩にかけた良質の肉牛が生産されています。



丹波篠山黒豆

大粒でほんのり甘く、色つやも美しい黒豆の最高級品。「畑の肉」と呼ばれており、栄養価もバツグンです。お正月の煮豆以外にも、味噌、酒、豆腐など、様々な加工品も人気です。篠山市内では年間を通じて、黒豆オリジナル料理も味わうことができます。



丹波篠山米

丹波篠山特有の昼夜の寒暖差が大きい気候風土や、清らかで豊かな水が稲作に適しており、主にコシヒカリが栽培されています。「東の魚沼、西の丹波篠山」といわれるほど、その美味しさが評価されています。



丹波栗

粒が大きく甘みにすぐれた丹波栗は、数百といわれる栗の品種の中でもトップクラスの味わいです。栗ごはん、上品な甘みの栗菓子、ちょっと珍しい栗酒など、楽しみ方もいろいろ。消化、吸収も良い健康食品です。



丹波篠山を伝承する

丹波篠山には、丹波杜氏や丹波篠山茶など、
代々受け継がれてきた技術や伝統があります。
また、独自の味噌仕立てで引き継がれているぼたん鍋など、
食や文化においても様々なものが後世に伝承されています。

酒づくりに高い技術力を誇る『丹波杜氏』は、南部杜氏(岩手県)、越後杜氏(新潟県)と共に日本三大杜氏の一つとして日本酒の歴史に名を残しています。また、日本一の酒どころ地元兵庫県「灘」の酒造りの歴史をたどると、天保年間には灘の蔵元のほとんどが『丹波杜氏』で占められるようになり、その後も酒造りの伝統に大きな役割を担ってきたと記されています。

『丹波杜氏』中川博基さんは、戦後の昭和から平成にかけて明石や西宮・灘で杜氏を目指して腕を磨き、現在は地元篠山で総監督として杜氏の技量を発揮し、酒造りに取り組んでおられます。近代化などでその務め方も様変わりしていく酒造りの世界ですが、杜氏の匠には酒造りの全ての工程を見渡してこだわり続ける一貫した技術があり、経験と感性を生かして銘酒の誕生へと導きます。こうした技術を後世に伝えていくことが大切、と今でも勉強会などは欠かさず、酒造り、さらには人づくりが大切と中川さんは語ります。

近年、その篠山で手がけられた地酒が品評会で認められ、篠山での酒造りも日本一と誇れる進化をみせています。丹波篠山の地でこれぞ日本酒という銘酒を産み出していく…。未来にまだまだ続きがありそうです。

たんぼとし 丹波杜氏

冬の農閑期の副業として、灘五郷、池田、伊丹へ酒造出稼ぎに出たのが丹波杜氏のはじまりです。「日本一の酒をつくる」と言われるほど名声が高く、今なお日本の酒造を支えています。



丹波杜氏組合 組合長
中川博基さん



丹波篠山茶

丹波茶は飛鳥時代から栽培されていると言われ、兵庫県一の茶どころ「味間地域」を中心に、祖先の技法と伝統を受け継ぎ栽培されています。平均気温の低さと「丹波霧」で茶の甘み、旨みがじっくりと蓄えられ美味しいお茶ができます。





丹波篠山の地酒

多紀連山から流れる銘水と、肥よくな大地で育った丹波篠山米を使用し、名声高い丹波杜氏が丹精込めて作り上げたお酒です。正統派から特産品を使った珍しいお酒まで種類が豊富で、お土産や贈答品に喜ばれています。



たんぼとじ

丹波杜氏酒造記念館

館内には丹波杜氏の由緒や古くからの道具や資料を展示し、昔ながらの手造りでの酒の醸造を9つの過程で解説しています。

東新町1-5 料 協力金100円 休 12月～翌年3月の土日祝日、12/28～翌年1/4 問 079-552-0003

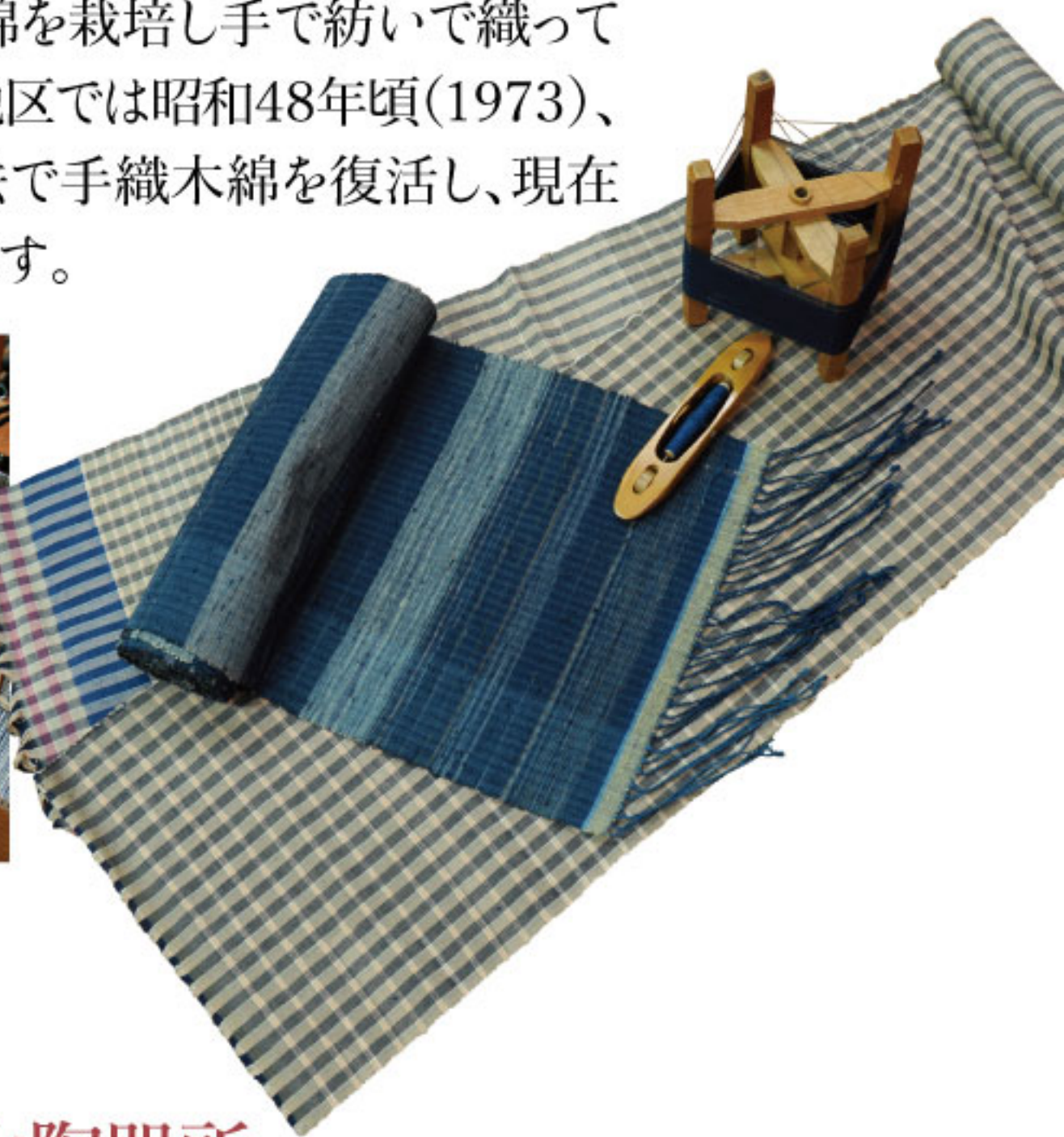
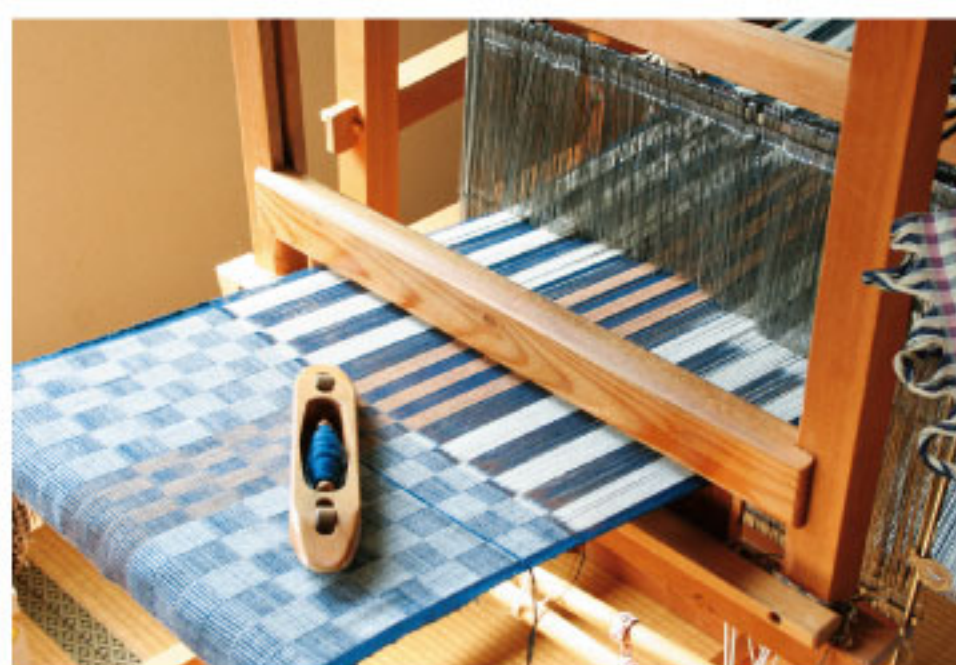
ぼたん鍋

丹波篠山で古くから食べられている伝統料理「ぼたん鍋」は、味噌仕立てで体を芯から温めてくれます。急峻な地形と豊かな山の幸で育まれた篠山の猪肉は、煮込むほど柔らかくなるのが特徴です。



丹波木綿

丹波木綿は、宝永年間に良質の綿を栽培し手で紡いで織って衣料として使われていました。栗柄地区では昭和48年頃(1973)、機織機を持ち寄り昔ながらの製法で手織木綿を復活し、現在では市内各所で受け継がれています。



王地山焼・王地山陶器所

王地山焼は、江戸時代末期の文政年間、藩主青山忠裕が京都から名工欽古堂亀祐を招いて指導させ、王地山に開いた藩窯です。一度は途絶えましたが、昭和63年(1988)に120年もの歳月を経て、同じ名前の「王地山陶器所」として復興しました。

河原町431 料 見学無料 休 毎週火曜日(祝祭日は開館)、12/29～1/3 問 079-552-5888

温泉&お宿

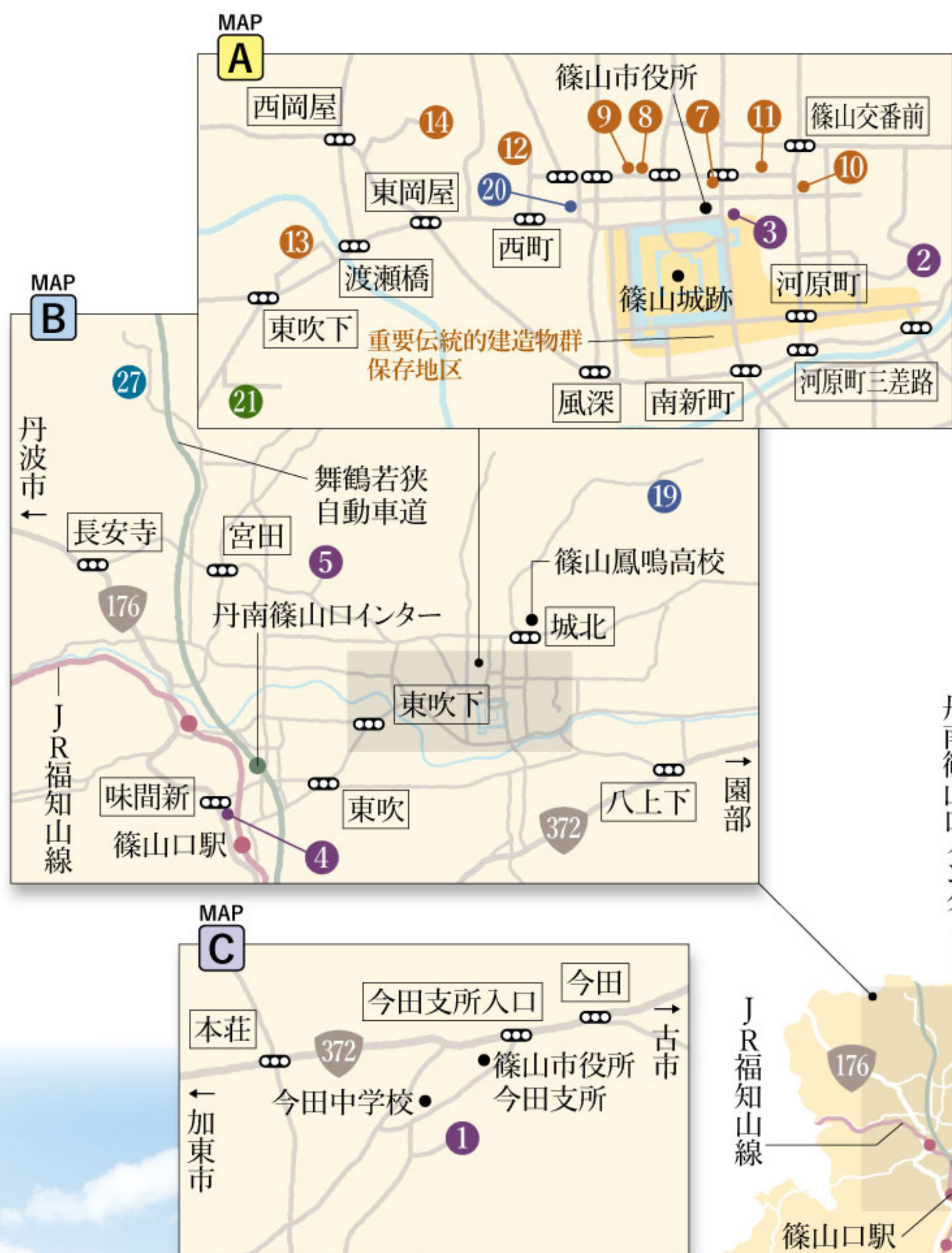
美しい四季折々の風景と
情緒ある町並みを散策した後は、
露天風呂でくつろいで
美味しいお食事に舌つづみ。



① こんだ薬師温泉 ぬくもりの郷

地下1300mから湧き出る効能豊かな源泉
かけ流しの温泉です。丹波焼を湯船や床
に使った丹波焼陶板風呂と、丹波特産の
丹波石をふんだんに使った丹波石岩風呂
の2種類の風呂があり、男湯・女湯が週毎
に入れ替わります。広々とした大浴場と露
天風呂でゆっくりおくつろぎいただけます。

今田町今田新田21-10 料 中学生以上700
円、小学生300円、幼児無料 休 毎週火曜
日(祝祭日は営業) 問 079-590-3377



丹南篠山口インター
舞鶴若狭自動車道

JR福知山線

篠山口駅

舞鶴若狭自動車道

② 王地山公園ささやま荘 MAP A

丹波篠山を見渡せる絶景の地、王地山に建つ宿泊施設です。天然温泉まけきらいの湯も魅力の一つ。黒瓦の妻入商家群を見下ろせ、春は桜、秋は紅葉が彩りをそえます。自然あふれる環境と真心こもったおもてなしで情緒あるひとときをお過ごしください。

河原町474-1 料 お問い合わせください
問 079-552-1127



篠山市の宿泊施設

ホテル	MAP	住 所	電話番号
③ 篠山観光ホテル	A	北新町123	079-552-5200
④ ささやまホロンピアホテル	B	中野76-4	079-594-2611
⑤ ユニピアささやま	B	矢代231-1	079-552-5222
⑥ VIPアルパインローズ・ビレッジ	D	遠方16-3	079-590-7615

旅 館	MAP	住 所	電話番号
⑦ 丹波篠山 高砂	A	二階町6	079-552-2158
⑧ 潯陽楼	A	二階町79	079-552-0021
⑨ 丹波篠山 近又	A	二階町81	079-552-2191
⑩ 料理旅館 池富	A	立町125	079-552-0064
⑪ 玉川楼	A	呉服町32	079-554-2266
⑫ 旅館たにだ	A	乾新町79	079-552-0568
⑬ 旅館したぼう	A	東吹889-2	079-594-1039
⑭ 兵庫県立新たんば荘	A	郡家451-4	079-552-3111
⑮ 大谷にしき荘	D	遠方122-1	079-592-0045
⑯ 丹波ささ山 籠坊 溪山荘	F	後川新田222	079-556-2271
⑰ 浪花館	F	後川新田71	079-556-3148

古民家宿	MAP	住 所	電話番号
⑱ 森の風土	E	川原194-1	090-5885-9713
⑲ 集落丸山	B	丸山30	079-552-5770
⑳ 篠山城下町ホテル NIPPONIA	A	西町25 ONAE棟	0120-210-289

民 宿	MAP	住 所	電話番号
㉑ ロッジS.P.H	A	東吹956-1	079-594-2093
㉒ オータニ モンゴルの里	D	遠方41-1	079-592-0051
㉓ 里山ロッジ森の時計	D	本郷475	079-592-0336
㉔ J's hill GARDEN	D	本郷632	079-590-7317
㉕ 湯の壺	F	後川新田79	090-9097-9060

ゲストハウス	MAP	住 所	電話番号
㉖ 古民家ゲストハウス やなぎ	E	福住391	079-506-0916

キャンプ場	MAP	住 所	電話番号
㉗ ハイマート佐仲	B	小坂459-3	079-593-0888
㉘ 丹波猪村	F	後川上1154	079-556-2680
㉙ 丹波篠山溪谷の森公園	F	後川上1170	079-555-2323

自然体感& 体験型公園

豊かな自然が残る篠山市。
自然と触れ合いながら遊び、
季節を感じながら体験ができます。



① 丹波並木道中央公園

広い芝生広場は散歩やファミリーにぴったり。特におままごとハウスや森の中のローラー滑り台はチビ子に大人気です。木工教室も充実しています。

西古佐90 料無料 休 年末年始
問 079-594-0990



② ささやまの森公園

里山ならではの四季折々の風景が見られる自然公園。園内では珍しい動植物や、里山ならではの生き物に出会えます。様々な里山体験プログラムも充実しています。

川原511-1 料無料 休 毎週月曜日
(祝祭日は開館、翌日休館) 12/29
～翌年1/3 問 079-557-0045



③ フォレストアドベンチャー・丹波ささやま

高さ200mに足場を組み、樹木との間を100m滑空するジップスライドなど、アクティビティは49種類。この種の施設ではスリルはトップクラス。

火打岩字畑山265-3
問 090-9119-3380 *料金、営業日
などはお問い合わせください



④ 篠山チルドレンズミュージアム

「ごんた山」の麓にあり、芝生や小川で外遊びが楽しめます。館内では昔ながらのおもちゃで、大人も童心にかえって時間を忘れて遊べます。人形劇団クラルテの公演もあります。

小田中572 問 079-554-6000
*入館料、開館日などはお問い合わせ
ください



⑤ 高城山(八上城跡)

標高462mの高城山は「丹波富士」とも呼ばれ、国指定史跡の八上城跡があります。登山道も整備されており、歴史を偲びながら日帰りハイキングも楽しめます。





おって じんじゃ

⑥ 追手神社の千年モミ

大山宮の追手神社にある日本一の大きなモミの木で、国の天然記念物に指定されています。樹高34m、幹周7.8m、推定樹齢300～1000年。



ひおき

⑦ 日置のハダカガヤ

日置の磯宮八幡宮にある、果実にかや特有の固い殻がない珍木。足利尊氏が奉納した実が大きくなったという言い伝えがあります。国指定天然記念物。



⑧ 安田の大杉

国道173号と国道372号が交わる「安田西」の交差点の南側にある巨木。樹高33m、幹周8.4m、推定樹齢700～800年。県指定天然記念物。



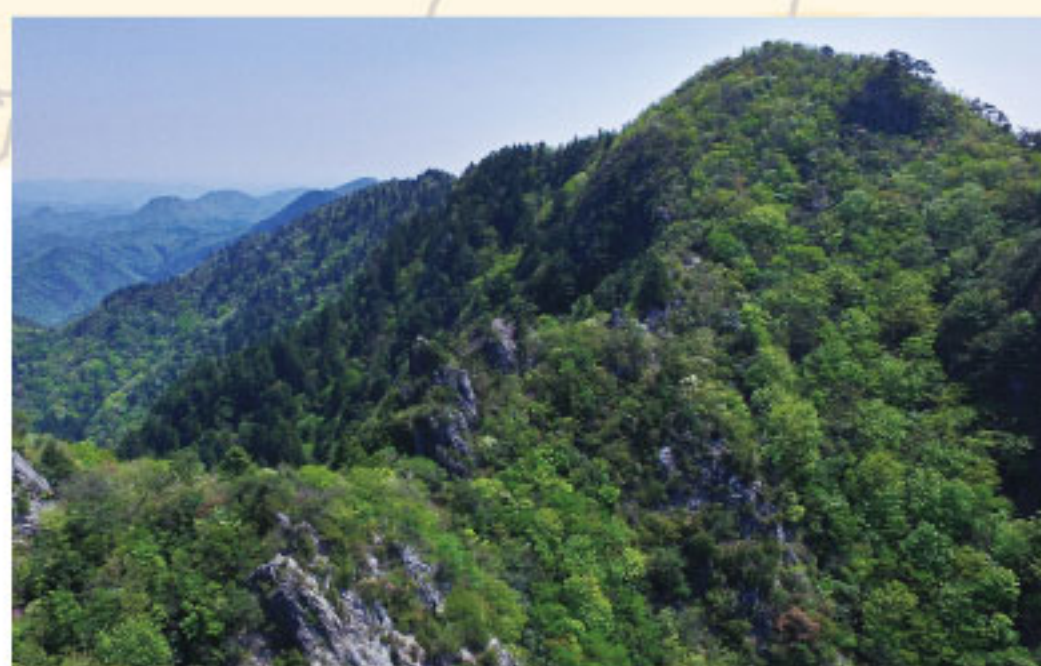
⑨ 藤坂の大カツラ

カツラとしては日本最大級で、県下で最も太い巨木でもあります。毎年5月に、この木の枝を使って豊作祈願の御田植祭があります。樹高20～38m、幹周約13m。県指定天然記念物。

かみたちくい

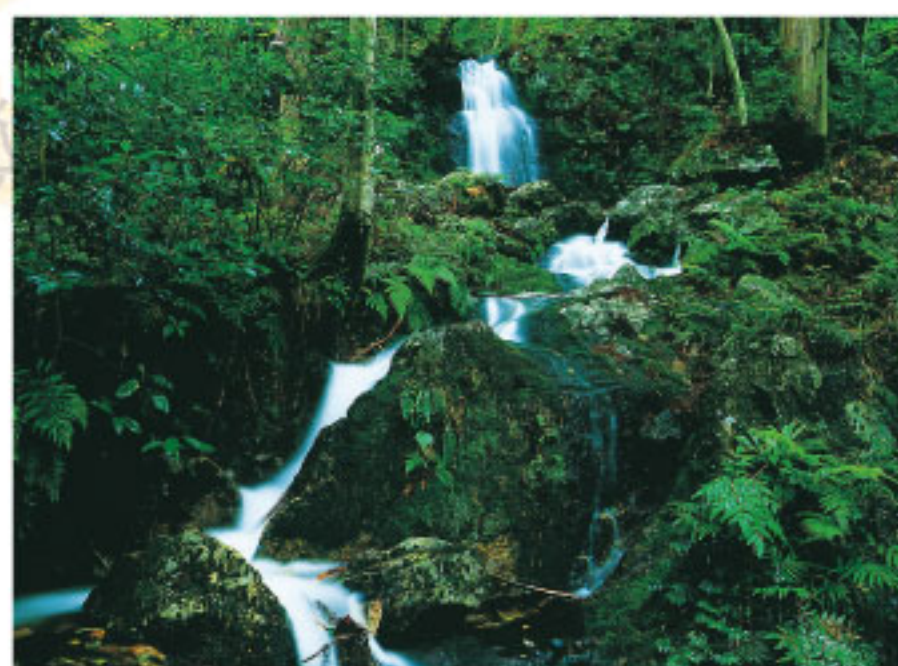
⑩ 上立杭の大アベマキ

丹波焼の里の窯元通りにある、アベマキとしては日本一の巨木。樹高28m、幹周約5.4m、推定樹齢500年。県指定郷土記念物・県指定天然記念物。



⑪ 多紀連山県立自然公園

篠山盆地の北方に連なる雄大な連峰で、主峰の御嶽(793m)、東の小金ヶ嶽(726m)、西の西ヶ嶽(727m)の三峰を中心として多紀連山県立自然公園として親しまれています。5月には山開き、11月にはアルペンルートが開催され、多くの登山客で賑わいます。



ささみ しじゅうはったき

⑫ 篠見四十八滝

多紀連山の東端に位置し、始終(しじゅう)かれることがない滝が8つあるところからこの名があります。多紀連山県立自然公園に含まれ、春は桜、夏は溪流、秋は紅葉、キャンプもできる憩いの場で、多紀連山への東の登山口でもあります。



くも べくらまづか こふん

⑬ 雲部車塚古墳

5世紀中頃に築かれた前方後円墳で、全長140mと兵庫県第2位の大型古墳です。明治時代に村人たちによって発掘調査が行われ、石室からは石棺や多くの武具が見つかりました。皇族の墓である可能性があるとして、宮内庁の陵墓参考地となっています。



ARアプリ



アプリ「丹波篠山NAVI」(日本語、英語、繁体中国語、簡体中国語、ハングル、ドイツ語の6か国語対応)をダウンロードし、50カ所に設置された案内板にスマートフォンを向けると案内映像やお宝映像が流れ、観光一覽で観光ガイドとしてもお使いいただけます。
また、マーカー読み込みにして篠山市の市章にスマートフォンを向けるとデカンショ踊りが実演されます。

*対応OS

iPhone版 iOS8.0以降、Android版 Android4.3以上

*アプリのサイズが大きいのでWi-Fi環境であらかじめアプリをダウンロードしてください。



iPhone版

アンドロイド版

電子ブック

下のQRコードをスマホで読み取ると、このパンフレットの電子ブックが見られます。



電車で

大阪から 約60分 JR大阪駅 → JR篠山口駅

神戸から 約80分 JR三ノ宮駅 → JR尼崎駅 → JR篠山口駅
*篠山城跡周辺まではJR篠山口駅から路線バスで約15分
*丹波焼の里まではJR相野駅から路線バスで約17分

お車で

大阪から 約50分 中国自動車道 → 吉川JCT → 舞鶴若狭自動車道 → 丹南篠山口IC下車

神戸から 約60分 阪神高速 → 六甲北有料道路 → 神戸三田IC → 中国自動車道 → 吉川JCT → 舞鶴若狭自動車道 → 丹南篠山口IC下車

京都から 約60分 京都縦貫自動車道 → 千代川IC → 府道73号 → 国道372号

観光ボランティアガイド

ディスカバーささやまグループ … TEL(079)552-3380
丹波焼の郷 窯元路地歩き … TEL(079)597-2034
福住町並み案内人 … TEL(079)506-3313

お問い合わせ

篠山観光案内所 … TEL(079)552-3380
篠山口駅観光案内所 … TEL(079)590-2060
丹波篠山観光協会 … TEL(079)506-1535
篠山市役所 … TEL(079)552-1111

ホームページ情報

篠山市
<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>
丹波篠山観光協会
<http://tourism.sasayama.jp/association/>

篠山市



丹波篠山



篠山市
マスコット
キャラクター
「まるいの」